



所狭しと並べられた野菜や花きを買求める来場者たち

まちなかエリアで早朝からにぎわい 新鮮な野菜や花きを販売

くずまき産直連絡協議会主催の産直連携「あさいち」が8月11日、JRバス葛巻駅構内で行われ、多くの来場者でにぎわいました。

出店者の威勢の良い掛け声が響く会場内では、町内で収穫された豊富な種類の新鮮な野菜や、切り花などの花きが販売され、来場者はお気に入りの一品を求め、夢中になって商品に目を向けていました。朝早くから買い物に訪れたお客さんは「たくさん買ったので手に持ちきれない」と笑みを浮かべていました。

消防義魂祭を実施 活躍された故人の冥福を祈る

消防義魂祭は8月14日、宝積寺の境内で行われ、消防関係者など約60人が出席しました。

この義魂祭は、生前に消防団員として活躍された方々を供養するため、町消防団が毎年実施。本年度は新たに23人がまつられ、鈴木重男町長は「これまで受け継がれてきた伝統と町民の安全を守る活動を末永く守っていききたい」と追悼の辞をささげました。出席者は故人の冥福を祈るとともに、消防団員としてのさらなる精進を心に誓っていました。



町消防団として活躍された故人の冥福を祈る出席者の皆さん

スノートイワークショップ オリジナル雪板作りを体験

榎木裕太さん（茶屋場）主催のはじめてのスノートイワークショップが8月15日、旧遠藤邸で開催され、約10人の親子が参加しました。

この事業は、雪板作りを通して雪遊びの楽しさや自然の大切さを知ってもらうことを目的に開催されました。子どもたちは、滑り止めシートを好きな形に切り貼りしたり、絵を描いたりしながら、オリジナル雪板を製作。完成した雪板を手し、冬に遊ぶ姿を想像しながら笑顔を見せ、自然の魅力に触れていました。



思い思いのデザインで自分だけの雪板を作る子どもたち

町長杯U-15・U-12サッカー大会 チーム一丸でゴールを目指す

町サッカー協会（城内誠一会長）主催の第12回葛巻町長杯U-15サッカー大会が7月11日と12日の2日間、町総合運動公園で開催され、葛巻中学校を含む6チームが参加しました。開会式では城内会長が「日頃の練習の成果を発揮し、失敗を恐れずチャレンジしてほしい。相手を思いやる気持ちを持ってプレーしてほしい」とあいさつし、選手たちを激励しました。試合では、鋭いパス回しや果敢なドリブルでゴールを目指すなど、熱戦が繰り広げられました。

また、8月8日と9日には、第15回葛巻町長杯U-12サッカー大会が開催され、県内各地から葛巻町のチームを含む10チームが参加しました。夏の日差しが照り付ける厳しい暑さの中、選手たちは暑さに負けることなく元気いっぱいにプレー。仲間と声を掛け合いながらパスをつなぎ、一生懸命ボールを追いつける姿が随所に見られました。保護者や応援に駆けつけた人たちからも大きな声援が送られ、会場は熱気に包まれました。



1



3



2



5



4

1果敢なドリブルでシュートを目指す葛巻中の選手（ピンクのユニフォーム）2必死のディフェンスでゴールを守る様子3力強いキックを放つゴールキーパー45元気にプレーする葛巻の選手（白黒のユニフォーム）

交通事故防止めざまし作戦 牛乳飲んで交通事故を防止

町交通安全対策協議会（鈴木重男会長）主催の交通事故防止めざまし作戦が8月7日、道の駅くずまき高原駐車場で行われ、関係者約30人が参加しました。

参加した小田防犯少年隊の子どもたちは、道の駅を訪れた車の運転手に、くずまき高原牛乳と交通安全啓発チラシを手渡ししながら「交通安全に気を付けて運転してください」と元気よく呼び掛け、運転手の皆さんも笑顔で受け取り、安全運転への意識を高めていました。



安全運転を呼び掛けながら牛乳とチラシを配る子どもたち